

Poor

Head

English

Vol.4

*Written by
shiroa*

1、Season4 に突入なのです。

よっ、待たせたな。

しろあです。

英語の学習は順調に進んでいるでしょうか？

ここで話しているPoor Head English の学習方法では、いまいち英語上達の実感がわかりにくいのが特徴です。

その分、ストレスなく、着実にレベルアップをはかれます。多少知識が偏ろうが、中学生向けの英語の問題が解け無かろうが、気にしないことです。

ええ、特に英作文に関しては、いまだに中学レベルの問題、間違っちゃいますヨ！

別にそれで構わないと思います。

その分、実践的に自分がしたいことや、して欲しいことなど。英作することができるようになってきました。

例えば

Let's catch the DragonBall s!

なんてさらさら出てきます。もちろん、「つかもうぜ！ ドラゴンボール！」の英文ですよ。

ポイントは2つ。

ひとつは、

「 Let us (= Let's) 」を使うことで、 ” みんなで ~ しようぜ！ ” という雰囲気を出していること。

もうひとつは、

「 the 」 を使っていること。「 a 」 にしなかったのは、ドラゴンボールは地球上に1セットしかないからです。7つ揃って一揃えなので、名詞の最後に「 s 」を付けてみました。

すでに英語学習のプロセス、上達法はほぼほぼ語ってきたので、season4 では、こんな実践的な英語の小話を行いながら、みなさんと一緒にレベルアップしていきたいと思います。

メインコンテンツとして 「英語には部首みたいなものがあるよ」。長期連載コンテンツとして 「Basic英語 の単語をマスターしよう！」。

どちらもあなたの役に立つお話になると思います。

お楽しみに！

2、漢字に部首があるように、英語に似たのがあるんです①

Q: Do you like a meal?

A: I am Pizza!

しろあです。

痛いですね。とっても痛いですね。

でも、そんな返答してしまうかもしれませんね。

ちなみに 「meal」 は食事です。あなたの好きな料理はなんですか？ という感じ。

その解答が 「 I am pizza! 」 というのは痛い。

わたしはピザです！ っていうと、なんとなく日本語では意味が通じますが、

英語の意味合いでは ”ピザ、それが私自身、つまりピザ=自分なのだ！”

と力強く宣言している、それが 「 I am pizza! 」 と言えましょう。

正しい解答は

「 I like a pizza! 」 : 私はピザが好き！

さて。今回のトピックは「部首」です。

我々が使う日本語には漢字という素晴らしい機能文字があって、

これのおかげで言葉と言葉の間にブランク（空間）を開けなくてもよかったり、

少ない文章で意味合いを伝えることが可能となっています。

その分、漢字の種類は膨大で、ほとんどの人はほとんどの漢字を知りません。

読めるけど書けない漢字もしばしば。

身近な簡単な漢字を、ある程度知っている程度です。

.....って、なんか英語と同じじゃん！

英語の英単語って別に全部知っておく必要もないし、

読めるけど書けないスペルがたくさんあるし、

それでもなんとなく聞くこと、読むことができる。

意外な共通点が見つかりましたね。これは予想外でした（汗）。

そして、大いなる共通点として「部首」があります。

よくわからない漢字でも、部首があるおかげでなんとなく意味合いが分かってくる。

鯡、鮫、鯛、鱸 など。

あじ、さめ、たい、.....あとひとつなんだっけ？

でもまあ部首が「魚」だから魚の名前だな。

と、わかります。

英語の場合、部首とは言わないみたいですが、

単語を分解すると、ひとつひとつきちんとした意味合いがあるパーツで構成されていることがわかります。

つまり、そのパーツをたくさん覚えれば、

いちいち単語を丸暗記しなくても、なんとなくこんな意味かな？ と当たりをつけられるようになるわけ。

何回かにわたり、そんな単語を具体的に紹介していきたいと思います。

Coming soon!

3、漢字に部首があるように、英語に似たのがあるんです②

漢字を覚えるのと英単語を覚えるのは似てます。

しろあです。

私は勉強嫌いっ子でしたので、漢字の練習とかほとんどしなかったんですけど、人一倍漢字を知っています。それはただたんに本をたくさん読んだことで自然と身についただけ。

漢字を暗記するという、無駄なエネルギーとストレスは一切無しで、漢字を覚えました。また、文脈から実践的に漢字や言葉を覚えていくので、その漢字の奥行き、成り立ち、旧字体での形などなど。それらも割合見えてくるようになりました。

英単語も同じように覚えます。英文をたくさん読むこと、聞くことで、実践的に言葉の意味を、厚みを持って覚えていくことができます。

以前も書きましたが、そのために**英単語の暗記は不要**なのです。

さて、本題に戻りましょう。英語の部首のようなもの、これを理解していくことで、はじめて出会う英単語も、なんとなく意味が理解できるようになります。いくつか例をあげてみましょう。

① 「medi」 が一番前につくと、「半分、間の」という意味になります。

- ・ medial : 中間の、平均の
- ・ mediety : 片割れ

～あまりピンとこなかったな。次。

② 「sum,sump」 が単語につくと、「使う」という意味になります。

- ・ consume : 消費する
- ・ consumer : 消費者

なんとなく、理解できるのではないのでしょうか。こと、お金を使うイメージが浮かんできますね。

③ 「liber,liver」 が単語につくと、「自由な」という意味になります。

- ・ liberal : 自由主義
- ・ liberty : 自由

ステップワゴンのCMでお馴染み、「パパママリバティ」の「リバティ(Liberty)」ですね。

こんな感じで英語の部品を覚えてくることで、遠く離れて考えてきた言葉が急に密接に近づき、理解が深まり、尚且つ意味を深く理解できるようになるわけです。今回復習していて、「リベラル」と「リバティ」は確かに兄弟だな、なるほどな、とあらためて感じました。

尚、この情報は石井あきらさんのメールマガジン「英語は『毎日3分学習』することで話せるようになる」から引用し、編集したものです。ほぼ毎日このような英語の部品を学んでいくことができるので、興味のある方は登録してみましよう。もちろん、無料です。

さらに、面白そうな英語の部品を次回も紹介します。

4、漢字に部首があるように、英語に似たのがあるんです③

I'm looking for a good restaurant.

しろあです。

さあ、訳してみるとどんな感じでしょうか？

「いいレストランを探してるんだけど」というのが普通でしょうね。

でも私がこの英文にこめたのはもうちょっと深い意味です。

「おいしいレストランを探しているんだけど」

○ good : おいしい

ということです。

それをふまえて冒頭の英文を読みなおすと、「a good restaurant」は、「「いいレストラン」ということですが、

”なにがいの？”と考えた時に ” おいしい ” ということだと深読みできますね。

もちろん、実際に使う場合は「taste」や「looks」でももう少し具体的に表現していく必要があるかも知れません。

まあだいたい「おいしい」ということで通じるんじゃないかと思います。

では本題に入りましょう。英語の ”部首みたいなもの” の話。

今回は ”頭につくと！” という英語の部品を紹介します。

① 「dis」が一番前につくと、「反対」や「取り去る」という意味になります。

- ・ dislike : 嫌い
- ・ disagree : 一致しない

他にも「in」や「un」など似たものがありますが、この単語にはこれがかっつく！

という感覚と、それぞれの部品のニュアンスを深く理解していくと面白くなってきそうです。

② 「mis」が一番前につくと、「悪い、謝った」という意味になります。

- ・ misfortune : 不運
- ・ mistake : 誤り

「unfortunately」も 「不運にも」 という意味合いがあり、じゃ、どっち?! っていいたいくなりますね。

私は「unfortunately」が好きです。.....いや、好き嫌いの問題じゃなく、使いどころなんだろうな。

③ 「post」が一番前につくと、「後の、次の」という意味になります。

- ・ postwar : 戦後の
- ・ posterity : 子孫

へえ、知らなかった。勉強になりますね。この単語を使わずとも、違う言葉で表現できそうですね。

よく役職なんかの「ポスト」とは、ちょっと意味合いが違いそうですが。

.....いや、その役職の人が抜けて、それに ”後から入る人” と考えると意味がつながるな。

今度詳しい人がいたら聞いてみよう！

なお、今回は「ALL IN ONE」の付録を参考に編集しました。一部前述のメルマガの情報も盛り込んでます。

○ おまけ ○

単語の頭につける部品のことを、専門用語で ”接頭辞” というそうです。

まったく覚える必要はありませんが、学生さんの為に補足です。

5、漢字に部首があるように、英語に似たのがあるんです④

What ! do you doing!

しろあです。

「なんでやねん」を一生懸命英語にしようとしたんですけど、
とりあえずこんなところで勘弁して下さい。
でもどちらかというこの英語は「なにしてさらすねん」の方が近いかな。

そんなバカげなことを考えながら、今日もはりきっていきましょう！
英語の部品を覚えることで、知らない英単語もなんとなく予測つくようになるよ、という話の続きです。

① 「fac, fact」がつくと、「作る」という意味になります。

- ・ manufacture : 製造業者
- ・ dissatisfaction : 不満

この「satisfaction」という言葉の中にも「fac」が入っているのがポイントです。身近で知っている単語の中にも、こういう発見があったりして。こういうのはちょっと楽しいかも知れませんね。

② 「fid」がつくと、「信頼」という意味になります。

- ・ confident : 確信して
- ・ confidence : 信頼、信任
- ・ confidential : 機密の

みんな違うのはおしりだけ、という単語の例になりますね。このおしりのパーツを理解することで、また他の単語にも応用が利くようになりそうです。

今回は単語の中に入る、単語の部品を紹介しました。
これを理解してくれば、オリジナルの単語も作れそうですね。

「 important 」の中にも意外な言葉が埋め込まれています。
港なんかでお馴染みの「 port 」。
それを考えると 「 重要 」という言葉の英語での語源が、なんとなく見えてきそうな気がしてきます。

いや、別に。調べたわけでもないし、そんな気がするだけなんですけど。

続く！

6、漢字に部首があるように、英語に似たのがあるんです⑤

英単語は、その意味を暗示する部品で構成されてますヨ。

しろあです。

そういう話をしてきました。
今回はまとめ。

経験の中でこういうパーツをたくさん知っていくことで、単語を覚えるのがすごく簡単になります。

例えば 「-tion」 がお尻につく言葉。

みんなカタカタ語で表せば 「ション」 と発音する言葉ですけど、
「サティスファクション」「シュミレーション」「ダイレクション」.....

それぞれ意味が違う単語ですけど、お尻につく部品が同じ。

数学的に書くと

「 A + X 」、 「 B + X 」、 「 C + X 」

のように単純化できてるわけです。「 X 」 が同じならばスペルも同じということ。

つまり、単語のパーツを覚えていくことで、単語も単純になるだけでなく、
苦手なスペルを覚えることも簡単になるんです。

これから出会う知らない単語が出てきた場合、その単語を分解して、知ってる単語のパーツを探してみる。
そんな “宝探しをするような” クセをつけると、ぐっと単語力が伸びると思いますヨ。

7、Basic英語 の単語をマスターしよう！ vol.1-a

言葉はいろいろと置き換えることができます。

しろあです。

Season 1 で 『ベーシック英語』という本を紹介しました。
これはイギリスのオグデン博士が研究した、

”極力少ない単語の数で、英語を表現する方法” であり、
その極力少ない単語数というのは 850語でした。

850語！ と聞くとなんとなく多く感じるかもしれませんが、
中学校で習う英単語の数が 約1000語 であることを考えると、
決して多い数ではありません。

しかし、星の数ほどある英語を、たったの 850語で表現しようとするのですから、
ひとつひとつの単語をより深く理解し、使いこなさなければいけません。
単語ひとつひとつの持つ質感、ニュアンスは、

決して日本語とイコールではありません！

an apple = りんご

こういう名詞はそうなんですけれど。

” have ” や ” get ” などは鬼のように深い意味があるものです。

私はベーシック英語はあまり参考にならない、と以前書きましたが、
英単語を深く理解する意味では非常に役に立つ、と今は考えています。

日本語でもそうですけどね。言葉というのは、その単語自身が独立したものと考え、ひとつひとつ理解していくことが大切だから
です。そうすることではじめて、その単語を言語の中で使いこなせるようになるんですよ。

これからはその基礎の基礎となる 850語を、少しずつ紹介していこうと思います。

例えばこんなのがありますヨ。

○ yawn

.....わかりました？ 本当にこんなのが基礎の基礎である 850語に入ってよいのでしょうか？

ヨ～ン！

.....意味、わかりますか？ これって他にどういう応用が利くんですかね？

欠伸

.....ですよ？ あれ、動揺して漢字で書いてしまった。これじゃわかんない人もいる。ひらがなで書こう。

あくび、です。

.....本当に信用して良いものかどうか。と、とりあえず次回から一語一語丁寧に見ていっていきましょうね。

<remain 849> ← (残り、849語という意味です)

8、Basic英語 の単語をマスターしよう！ vol.1-b

「あ、痛い！」 と思ったので英語で言ってみたよ。

Oh! I want to meet.

しろあです。

残念。これは「会いたい」ですね。なんとなく「あ、痛い！」の ” あ ” を表現しようとして、”Oh!” を使ってみました。……まあ姑息です。

では、今回もBasic英語より、単語を紹介していきましょう。

Ohurt

痛い、痛いですねえ。という単語です。
傷つける、とか。害するとか。そういう意味合いです。

hurt goods : 破損品、不良品

という感じになります。
非常によくつかわれる単語ですね。

カタカナ語で書くと「ハート」。

どちらかという音的には ”heart” (心、心臓) を思い描く人が多いと思いますが、意外にもBasicには ”heart” はありません。……どうやって表現する気なんだろう??

○ago

昔話の語りくちで 「Long long ago」 というセンテンスを聞いたことがあると思います。
「むか〜し、むかし」って感じですね。

ago : ~より前に、昔

カタカナ語で「アゴオ」ですので(アントニオ猪木を連想しつつ)聞きなじみもあり、
感覚的にもこの言葉が出れば昔のことを話したいんだな、話てんだなって分かるので、簡単だと思います。

Orival

ぱっと見たら「何？」って思うかもしれませんが、
カタカナ語で書けばみんな分かります。「ライバル」。

競争相手でございますな。

” without a rival ” となると、競争相手がいない状態になるわけで、つまり 「無敵」という意味に。

この ” without ” もとっても大事な単語、かなり応用の利く単語だと思うんですが、意外にもBasicには入ってません。
……大丈夫か? Basic英語?!

9、Basic英語 の単語をマスターしよう！ vol.1-c

雨が続いてなかなかランニングができません。

しろあです。

おかげで週に1度ほど、5km走る程度。
いつも走ってないと走れなくなるのでは？！
と焦りもありますが、とりあえずは走れています。
体の基礎ができてきたからかも知れません。

でもま、目指すは10km走れる体なので、まだまだです。

英語の基礎体力もいつの間にかついています。
やっぱり毎日続けることが大事ですね。

では、基礎づくり、はじめていきましょう！

○dislike

「好き」を英語で言ったら？ —— 「like」。
これは誰でも答えられるレベルだと思います。
それを否定しようと思うと、

I don't like coffee.

こんな感じで 「not」 を使えばできるわけですが、
何故かBASIC 850語の貴重な一つに 「dislike」 が含まれています。
最近、「ディスる」という言葉が流行ってるみたいですが、その「ディス : dis」と思われます。

つまり、「like」 が 「dis」 られたもの、「嫌い！」 という意味ですね。

確かにネイティブの言葉を聞いていると、結構出てくる単語なので、きっと用法があるんでしょうね。

それは自分で見つけて身につけて下さい。

.....ちなみに「like」はBASICにはありません。何故?? 「dislike」の方が使うってこと??

○china

なんとなく、「中国」を連想してしまいがちですが.....間違いではないですが.....、
磁器。つまり、焼き物を意味します。

ウェッジウッドの "チャイナボーン" とか言いますが、いわゆる焼き物のことなんですね。

物の素材を説明する時など、割とひょこひょこ出てくる印象です。
「チャイナ」と聞えてきたら、まずは「焼き物」を連想するようにしましょうね。

○lamp

ランプです。明かりです。次。

○lump

カタカナ語では先と同じ「ランプ」。
でも意味は全然違ってきます。

lump : かたまり

何かがひと塊りになっているイメージですね。ステーキ屋さんに行くと「ランプ肉」とメニューにあったりします。また、そこから意味が広がったんだと思いますが 「ずんぐりした人」 の形容に使われたりするようです。

<remain 842 >

Poor Head English Vol.4

<http://p.booklog.jp/book/102086>

著者 : shiroa

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/shiroa/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/102086>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/102086>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ